

東武動物公園 ニュースリリース

動 27-30 号
平成 28 年 1 月 6 日

ふわふわの赤ちゃん誕生 アルパカの赤ちゃんが生まれました。

東武動物公園(東武レジャー企画㈱、埼玉県宮代町、社長:日置岳人)の人気施設「ふれあい動物の森」で暮らすアルパカの“ハクト”(オス、6 歳)と“コナユキ”(メス、6 歳)の間に初めての赤ちゃんが生まれました。また、アルパカの誕生は園としても初となる待望の二世誕生です。

コナユキの妊娠を確認したのは昨年(2015)の 4 月 25 日、それから徐々にコナユキのお腹が大きくなってきましたが予定日の 12 月 10 日を過ぎて中々生まれてきません…。

年が明けた 2016 年 1 月 4 日、この日はお正月も終わり穏やかな一日のはずでしたが、「アルパカから何かが出ている!」というお客様の連絡により事態は急変。飼育係がすぐさまコナユキの下に駆け寄ると、お産が始まっていました。それから約 30 分、座りながら力むコナユキに声を掛け、赤ちゃんの脚が出たところで飼育係が赤ちゃんを引っ張り出しました。

その後、準備していた屋内の飼育スペースに親子を移動し経過を観察。産後約 20 分で赤ちゃんは立ち上がり、母子ともに元気な様子が見られました。

現在、赤ちゃんはお母さんに寄り添ってのんびり過ごしていますが、授乳が上手にできていないようなので、飼育係が定期的にミルクを飲ませています。親子の様子は 1 月 5 日よりお客様にもご覧いただいています。名前や今後のイベントなどについては、決まり次第 HP 等でお知らせします。

個体情報

種 名:アルパカ

生年月日:2016 年 1 月 4 日

名 前:まだありません。

性 別:オス

展示場所:ふれあい動物の森内 森の教室

父:ハクト 2010 年 1 月 1 日生まれ

母:コナユキ 2009 年 9 月 3 日生まれ

※アルパカの赤ちゃんは体調等により展示が中止となる場合がございます。

【アルパカについて】

体長:約 2m 体重:約 50-55kg 分布:南アメリカ大陸の高地

威嚇や防衛のためにつばを吐きかけるという習性があります。常に群れをなして暮らし、草やコケを好んで食べます。毛を利用するために品種改良された家畜であり、その毛は今日でも広く利用されています。



〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画㈱ 業務部 山口・中嶋・前田

Tel 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>